

## スモールスタートで部門レポート作成工数を月120時間削減 全社データ活用基盤まで拡張し、データドリブン文化を全社に浸透

株式会社TBSグローディア

# Update NOW 21



### 「待ち時間ゼロ」で、各部門が自由に分析可能に

株式会社TBSグローディア（以下、TBSグローディア）のショッピング事業本部では、日々の売上情報をベースに、各部門の担当者が、番組軸や商品軸で販売実績を自在に集計・分析できる環境を整えた。今後は、CRMシステム、視聴率、地図データ、天気などと連携することで、顧客軸や多様な観点から分析できるようにすることも視野に入れている。

ショッピング事業本部 商品開発部 CRMチーム チーフ 原田 裕二氏

### Summary

概要



#### 背景・課題

- 販売実績レポート作成にあたり、情報システム部門に負荷がかかっていた
- 各部門が必要とするレポートがタイムリーに出せなかった
- 既存データベースのパフォーマンス不足でシステムが不安定だった



#### 導入のポイント

- スモールスタートが可能で、Excel感覚で開発ができるMotionBoardを導入
- MotionBoardと相性が良く、今後のデータ容量拡大にも対応するDr.Sumを導入
- 自社の実現したいことをサポートしてくれるオンボーディング支援を活用



#### 効果

- 販売実績レポート作成の時間を、120時間／月程度削減
- 情報システム部門に頼らず、待ち時間ゼロで各部門が自由に分析できるように
- 感覚値ではなく、リアルな数値で議論できる企業風土を醸成

# 導入製品・サービス



# MOTIONBOARD

CASE STUDY

**MotionBoard Cloud** ビジネスのあらゆるデータを可視化するクラウド型BIダッシュボードサービス。データを必要なカタチで、シンプルに可視化。

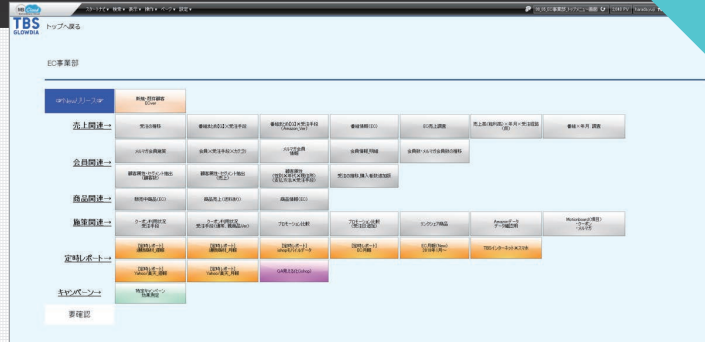
**Dr.Sum Cloud** 企業のデータ活用を加速させるデータ基盤ソリューション。10億件のデータを1秒台で集計するデータベースエンジンと、専門知識を必要としないExcel・Webブラウザのインターフェイスで、見たいレポートを瞬時に取得。

## 全社で100以上のボードが稼働 集計・分析の幅を広げるために 「Dr.Sum」とも連携

TBSグロウディアのショッピング事業部門では、テレビやラジオに通販番組を提供し、商品開発から番組制作、販売までを行うなどの通販事業を展開している。同事業で重要になるのが、販売実績の集計・分析だ。「番組」と「商品」という2つの軸から、電話・インターネット・ショッピングモールといった販売経路、顧客属性、キャンペーン施策など、多様な視点から分析することが求められる。

従来、販売実績に関するレポート作成は、情報システム部門がAccessで管理するデータを基にExcelで作成しており、週次の会議や各部門から要求されるごとに出力していた。

これを解決するために導入したのが、「MotionBoard Cloud」(以下、MotionBoard)だ。スマートフォンスタートできる点と、Excelと似た画面で



EC事業部で活用しているボード一覧

使い勝手が良さそうな点を評価した。「Accessからのデータ抽出、Excelへの出力作業をほぼ自動化され、おおよそ月に120時間程度削減でき、別の作業に向き合えるようになりました」(原田氏)

導入後2年が経過したころ、ライセンスを30ユーザーに増やし、各部門に利用を拡大。情報システム部門だけでなく各部の担当者が必要ときに必要な分析ができる体制を整えた。この結果、従来は1週間程度かかっていたレポートが「待ち時間ゼロ」で取得できるようになった。また、経営層から「各種ビジネス指標を測る

ためのツールとして、MotionBoardを全社的に使う」という決定もあり、今では100以上のボードが稼働している。

その後、これまでのAccessに換えて、DBエンジンとして「Dr.Sum Cloud」(以下、Dr.Sum)を導入。より安定して高速に集計できるようにした。

「今後はDr.Sumのさらなる活用を考えていきます。CRMシステムにあるお客様情報のほか、視聴率、地図データ、天気など、お客様の行動経済学に基づくデータをDr.Sumに取り込んで、集計・分析の幅を広げていきたいです」(原田氏)



月別の売上実績と内訳を可視化したボード

## TBS GLOWDIA

株式会社 TBS グロウディア

設立 : 2018年6月  
所在地 : 東京都港区  
URL : <https://www.tbsglowdia.co.jp/>

事業内容:TBSグループの7社が合併し2018年に設立。番組制作のコンテンツ事業、通信販売のショッピング事業、イベントやラジオ番組制作のイベントラジオ事業、放送のデジタル技術支援を行うデジタル技術事業を担っている。

サイト内でより詳しくご紹介しております。



<https://www.wingarc.com/product/usecase/423.html>